

## 地域おこし協力隊の現場を訪ねて

### 奥出雲の「繋ガール」 vol.1



4月から縁結び支援員として活動している内田<sup>ひさよ</sup>寿世隊員(神奈川県出身)を訪ねました。町内の縁結び支援団体と一緒に仕事をしながら地域の企業などとの連携をとって、各団体間のネットワークづくりに関わってきました。

取材した日は午後6時半から始まるネットワーク会議の準備で5時半に会場に入りました。疲れている時間帯ですが、テンションを上げて会議に臨みます。会議後半「自由意見を!」との

進行役の一声で心もち身を乗り出しました。

熱い意見が交わされる場面で、聴くことに徹していた内田隊員が意を決し手を挙げたよう



笑顔で会場準備。  
いろいろな人との縁をつくる場!

に見えました。内田隊員の発言には、これまで、若もん未来会議に参加して仲間と一緒に考え、一方で土日のほとんどを行事に出て地域の方々と繋がってきた7ヶ月間の想いが溢れていました。

奥出雲町の魅力を尋ねると、「外から来た私にみなさんが話しかけてくださること。」とほほ笑みながら答えます。「若い方、高齢の方を問わず、いろいろな人と関われる機会をつくりたい。縁結びというと恋愛をイメージすることが多いけれどもそうではなくて、いろいろな人と出会ってつながっていくことが縁結びなんです。」と語ってくれました。

ちなみに、このコーナーの似顔絵は、内田隊員の作品です。今後もお楽しみに!



内田寿世隊員  
(縁結び支援員)

取材：坪倉(地域おこし協力隊・定住コーディネーター)

今回は、奥出雲のグローバルコミュニケーター  
リンガ リンガ  
“linga, linga” 李 蓮玉隊員です。